

授業科目名 ( 英文名 )	教育原論 ( 教職課程科目 ) ( Principles of Education )	科目区分 対象学生	
単位数	2.0	開講年次・ 学期	1
担当教員	水田 聖一	所属	非常勤講師
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	教育の概念と理念並びに教育に関する歴史及び思想を講義する。それらをもとに、教育の意義、目的、教育の基礎的概念と諸理論、教育の歴史、教育の制度、教育の実践、生涯学習社会における教育、現代の教育問題など各自が考えを深め広げる機会を提供する。さらに現代社会における教育事象についても理解を深める。		
講義内容・授業計画	<p>I 講義内容 教職に関する科目。教育の理念、教育の歴史と思想について講義する。</p> <p>II 授業計画</p> <p>第1回： 教育の歴史と思想(1) 古代ギリシャの教育 ( スパルタの鍛錬主義 )</p> <p>第2回： 教育の歴史と思想(2) 古代ギリシャの教育 ( アテネの教養主義 )</p> <p>第3回： 教育の歴史と思想(3) 古代ローマの教育 ( キケロ・クリンティリアヌス )</p> <p>第4回： 教育の歴史と思想(4) 近代イギリスの教育状況</p> <p>第5回： 教育の歴史と思想(5) ロバート・オウエンの教育思想と実践</p> <p>第6回： 教育の歴史と思想(6) ベスタロッチに見る理想の教師像</p> <p>第7回： 教育の歴史と思想(7) シュプラングラーの教育論</p> <p>第8回： 教育の歴史と思想(8) フレーベルの教育観、発達観</p> <p>第9回： 教育の歴史と思想(9) ルソーの教育観、発達観</p> <p>第10回： 教育の歴史と思想(10) 近代以前の日本の教育 ( 「常民」の子育て )</p> <p>第11回： 教育の歴史と思想(11) 近代以前の日本の教育の特徴</p> <p>第12回： 教育の歴史と思想(12) 明治期の日本の教育(学制、被仰出書、教育令等)</p> <p>第13回： 教育の歴史と思想(13) 大正・昭和期の日本の教育(倉橋惣三の教育思想)</p> <p>第14回： 現代日本社会における教育の課題(生涯学習、生きる力、等)</p> <p>第15回： 教師の役割と任務 ( 確かな学力、PISA調査とキーコンピテンシー、等 )</p> <p>第16回： 試験</p>		
テキスト	生田貞子・水田聖一編著『教師論・保育者論 - 子育て文化の継承と再発見』三晃書房 *生協等で購入すること		
参考文献	文部科学省『学習指導要領解説』( 学術情報館にあり ) 安彦忠彦他『よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房 吉田貴子・水田聖一・生田貞子編著『新・保育実践を支える保育の原理』福村出版		
成績評価の基準・方法	ノート提出、ミニ・レポート ( 30% ) と定期試験 ( 70% ) により総合的に評価する。		
履修上の注意・履修要件	教職免許状取得希望者科目。 前もってテキストを読み、授業終了後に関連する事柄をインターネット等で調べるようにしてください。		
実践的教育			
備考	基本的にテキストの章の順に講義する。教育は家庭教育や学校教育、社会教育などカバーする範囲は広く、対象も幼児期、少年期、青年期、成人期などそれぞれ異なる年齢段階があり、さらに一人ひとり個性や諸特性が異なるが、すべてに共通する原理・原則が存在する。歴史を通じて明らかにされてきた諸原理を学び取って欲しい。		